

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2022	3	B	20121015	小柳歩夢

レポートは極力 5 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API 連携について、実用的な API とその活用について調査すること。

評価ポイント

選択した API の連携にどのような事例があり

具体的な実装方法について調べ

自分が使うのであれば、どんな使い方が考えられるか << 天気予報に使えると思うなどは NG。具体的に考えよう。

Google マップの API について記述していく。

Google マップの API はすでに多くのソフトウェアに活用されている、代表的な API の一つである。

事例としては Pokemon GO

Pokemon GO では自身のリアルタイムな動きに合わせ、ゲーム上のマップのキャラクターが動く。この動きについては GPS の

API が活用されていて、キャラクターが動くマップが Google マップの API を活用している。ゲーム上のマップとはいえ、かなり

見やすいもので、ゲーム上でアイテムを受け取ることのできる特定の建物はタッチすれば建物名や説明が表示されるものがある。

また、道路や水路も表示されている。



また、Google マップの API を使っているため、そちらに更新が入ると、ゲーム側にも反映される。例えば、私が 1 年生の頃、

本学の米山キャンパスはゲーム上、前の学校（確かデザイン専門学校）として表示されていた。それが 2 年生の頃には更

新され、本学の米山キャンパスとして表示されるようになった。

以下 私が考える Google マップ API の活用方法について

- 旅行・観光プランニングアプリ

Google マップの API を用いれば、全国の観光名所、また全世界の名所を表示することができると思われる。

旅行や観光は楽しいものであるが、初めていく場所であれば、より楽しく快適なものにするために、しっかりとした計画を

練った上で行きたいと私は考える。そこで、この Google マップの API を活用する。具体的にはまず、行きたい地域を

選択する。それから行きたい場所の候補を選択する。Google マップの最短ルートを示したり、かかる費用を表示する

機能を参考に、アプリケーションにかかる金額、移動にかかる所要時間、ルートが示され、プランニングが完了される。

利点としては細かいルートの一つ一つを自分で決める必要があまりない。知らない土地の移動手段について自分で一

つ一つ決めるのはなかなか苦労する面があるが、その手間をかけることなく、最適なルートをアプリ側が示してくれる。

一方で、自分自身で決めていないことや、アプリ側の効率重視的な部分が出てしまうことで、あまり融通が効かなくなっ

てしまうなどの問題点が考えられる。